

保護者の皆様

北九州市立西小倉小学校
校長 竹内 学

学習活動における生成 AI（学校版 Gemini 等）の活用について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。本校では、文部科学省が進める GIGA スクール構想のもと、児童一人一人の学びをより充実させるため、1人1台端末を効果的に活用しながら、授業改善を進めています。その一環として、学校の Google アカウントで利用できる生成 AI ツールである「学校版の Gemini（ジェミニ）」を中心に活用していく予定です。また、学習内容に応じて「NotebookLM」等の教育向け生成 AI ツールを活用する場合があります。活用にあたっては、北九州市教育委員会の指導・サポートを受けながら、文部科学省が示すガイドライン等に基づき、児童の発達段階に応じて、安心・安全に利用できるよう取り組んでまいります。今後、児童用端末の画面上に、「Gemini」をはじめとする生成 AI ツールのアイコンが表示されるようになります。児童が学習の中で安心して活用できるよう、学校での使い方や利用上の注意についてお知らせいたします。

1 生成 AI を活用する目的について

生成 AI は、学習の中で、疑問を広げたり、いろいろな考え方を知ったり、自分の考えを整理したり、文章をより分かりやすくしたりするために活用できる道具です。本校では、生成 AI を「答えを教えてくれるもの」として使うのではなく、「自分の考えを広げたり、整理したりするための学習の道具」として活用していきます。そのため、AI が出した回答をそのまま写すのではなく、教科書や資料、友達との話し合い、先生の説明などと比べながら、最後は自分で考え、判断することを大切にしていまいます。

2 AI の回答との向き合い方について

生成 AI は、考えを整理したり、学習を進めたりするうえで役立つ道具ですが、示された内容がいつも正しいとは限りません。そのため、児童には、AI の回答をそのまま受け取るのではなく、教科書や資料、先生の説明、友達との話し合いなどと比べながら、「本当に正しいのか」「自分の考えとして説明できるか」を確認することを大切にしていまいます。学校では、情報を比べたり、確かめたり、正しく判断したりする力を、生成 AI の活用を通して育てていきます。

3 宿題や作品づくりでの利用について

読書感想文、作文、日記、調べ学習、その他の宿題などにおいて、生成 AI が作った文章をそのまま自分の考えや作品として提出することは、学習の目的から外れてしまいます。学校から特別に指示がある場合を除き、宿題や作品を生成 AI に作らせて提出することはしないよう、学校でも確認してまいります。また、コンクールや作品募集などでは、生成 AI の使用が認められていないものや、使用に制限があるものがあります。応募する際には、募集のきまりを確認し、生成 AI の使用が認められていない場合には、使用しないよう、ご家庭でもお子様と一緒に確認をお願いいたします。

4 安心・安全な利用について

今回、本校で使用する「学校版の Gemini」については、入力した内容が、AI の性能を高めるための学習データとして使われない仕組みとなっています。また、教育の場で児童が安心して利用できるよう、安全性やプライバシーに配慮した仕組みが設けられています。さらに、法令に反する内容や危険につながる内容などについては、回答しないよう安全面に配慮された仕組みとなっています。なお、「学校版の Gemini」では、入力した内容や AI とのやり取りは履歴として保存され、児童が自分で削除することはできない仕組みとなっています。これは、児童がどのように活用したかを振り返ったり、適切な使い方を確認したりする手がかりにもなります。

相手を傷つける内容など、不適切な使い方をしないことを確認するとともに、利用していて気になることや困ったことがあった場合には、担任等が丁寧に対応してまいります。基本的なルールについても、継続して確認してまいります。

5 学校での活用について

本校では、生成 AI をすべての学年・すべての授業で一律に活用するのではなく、授業のねらいや児童の発達段階、学習内容に応じて、よりよい活用方法を探りながら、段階的に取組を進めていきます。

まずは、高学年を中心に、調べたことを整理したり、自分の考えを広げたり、文章を見直したりする場面などで、授業の中での活用を進めていきます。

中学年についても、学習内容や児童の実態に応じて、活用できる場面を検討しながら、段階的に取り組んでいきます。

低学年については、児童の発達段階を踏まえ、すぐに個別に活用させるのではなく、必要に応じて教師が使い方を示したり、学級全体で確認したりするなど、無理のない形で扱っていきます。

生成 AI の活用を通して、児童が「自分で考える力」「情報を正しく見極める力」「自分の言葉で表現する力」を身に付けられるよう、取組を進めてまいります。

生成 AI は、正しく使えば学びを広げることができる便利な道具です。一方で、使い方を誤ると、自分で考える機会を失ったり、誤った情報を信じたりすることもあります。本校では、北九州市教育委員会の指導・サポートを受けながら、児童が安心・安全に、そして学びを深めるために生成 AI を活用できるよう、丁寧に取り組んでまいります。保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

なお、生成 AI の活用に関するご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。